

週日の説教

金 大烈 神父 2009年11月27日(金)

《終末論的な信仰と受肉論的な信仰》

おはようございます

すでに申し上げて来たことですが、待降節が目前ですので、もう一度改めて思い出す気持で申し上げます

教会が教える信仰には二つの種類があります。

終末論的な信仰と、神様が人間になった事、「イエス・キリストが肉となって来られた」(1ヨハネ・4-2)ことを受肉と言います。その**受肉論的な信仰**があります。それを簡単に、理解しやすく言いますと、皆様、祭壇の十字架を見て下さい。上から下、下から上を終末論的な信仰と言います。そして、横から横、左から右、右から左を受肉論的な信仰と言います。

これは、どういう意味でしょうか。受肉論的な信仰は、イエス様が人となってこの世の中に来て、色々な関わりについて強調しました。愛する事、何をなすべきか、どのような生き方をすべきか、沢山教えて下さいました。関わりが中心になっているのが左から右の関係、受肉論的な信仰です。カトリック信者なのに関わりが苦手だとすれば、それは信仰的な人とは言えません。

さあ、逆のことを考えましょう。上から下、下から上は終末論的な信仰です。何があっても私達の中心になるのは、神様と私との一対一の関係です。これをいつも意識しなければなりません。これが終末論的な信仰です。この終末論的な信仰を思う時、そこには必ず考えさせられるものがあります。それは生と死です。生と死を考えずに神様と私の関係は考えられません。そういう意味で終末論的な信仰と言うのです。私達にとって終末論的な信仰と、受肉論的な信仰の調和が何よりも大事なことです。例えば、祈りだけで愛の実践がなかったらそれも不足です。人々との関わりが多く充実していても、全く信仰的なものを何も守らなかったらそれも嘘です。

さあ、ある人はこの様に質問します。「私が出会う一人一人の内に、イエス・キリストがいると聖書に書いてあるから、私はミサにも与からずに一生懸命、人と関われば信仰的に実を結べるでしょう」と。しかしこれは危険な発想です。

逆に、私は「朝から夜までいつも祈りの生活をしています。」と言いながら、人々と関わるのが苦手、大嫌いになったらそれも矛盾です。

皆様はどちらに力を入れたいのでしょうか。終末論的な信仰と、そして受肉論的な信仰とどちらが大事な信仰だと思えますか？ 終末論的な信仰が大事だと思う手を挙げて下さい。(大体の人が手をあげ、自分が今まで口にして来たことが無駄ではなかったですね、感謝します。と司祭が笑って皆も笑った。)

私達は、祈らずには上手な関わりは作れません。これが原則です。もちろん調和させることはとても大事な事です。実際に教会の歴史もこの受肉論的な信仰を強調した時代もあったし、又、終末論的な信仰を強調した時代もありました。しかし、今の時代は、この二つの信仰が同じ重要性を持って私達の内に見えなければならぬ事をはっきりと言っています。

例えば、神様と私の一対一の関係が信仰的な結び合いでなかったら、善い心で人間的な関わりを持つようとしても失敗ばかりでしょう。その失敗から開放される唯一の方法は先ず私達が信仰者として祈りの内でよく識別する事です。

神様が導いて下さらなかつたら夫婦の関係も崩れます。どんな関係も崩れます。司祭と信者の関係も同じで、司祭も祈らなければ、又信者も祈らなければその関係はだめになります。ですから、私達の全ての事の中にはイエス・キリストがいる事を意識しなければなりません。

今日、皆様に私が話そうとした事はやっぱり祈りましょうと言うことです。祈りがなければ何もできません。どんなすばらしい名称の団体でも、集まりでも、この終末論的な信仰がしっかりと根を下ろさなかつたら、私達は色々な事で崩れてしまいます。

もし、相手が間違えてもこの終末論的な信仰をちゃんと築いている人は、すぐ受け入れ理解しようとする心が見えます。教会以外にも、社会で色々な人々のために頑張っていて活動している人が沢山います。しかし、いつも歴史が証明しているように人間が作った色々な思潮や思想による群れ、集まりは上手くいきませんでした。それは一つの真理だと思います。

皆様、待降節に入ります。今日私の言葉がお願いになるか、宿題になるかわかりませんがご自分なりに受け留めて下さい。降誕祭が来るまで私達は赦しの秘蹟に与かるように進められています。毎年、四旬節、待降節だから受けなければならないという気持で受ける赦しの秘蹟ではなくて、今回は、皆様が生まれてから今までの自分の生涯の事を、整理して紙に書いてみて下さい。子供の時親から受けた傷とか、子供の時解決出来なかった痛みとか、記憶に残っている事、人には話せない事を、ゆっくりゆっくり一つずつ思い出して整理する気持で書いて下さい。今、私がもし神様に呼び掛けられたら、これは赦してもらわなければならない痛みだと思った事も全部書いてみて下さい。それが、一枚になる人もいるし、十枚になる人もいるかも知れません。それを告解室に入って読んで下さい。こういう事があったと読めばいいのです。

皆様赦しの秘蹟が苦手でしょう。しかし赦しの秘蹟を心から受けることが出来たら何よりも嬉しくなります。喜びを感じます。ゆっくり整理なさって下さい。告解は私じゃなくてもいいのですよ。皆様ご自分のためですので、この歳の降誕祭を迎える前には是非受けてください。

ありがとうございました。